

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1011
2024.1.28

日本共産党さいたま市議会議員団

TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165

ご意見・ご要望はこちらにお寄せください



発行

松村

としお

久保

金子

としお

みき

あきよ

とば

めぐみ

たけこし

池田

めぐみ

市民の声に耳を傾ける 新しい市政を求めて



市政報告会

りくむことを呼びかけました。

久保みき市議は、一般質問の内容と公共交通の問題、西部環境センターの廃止について報告しました。今、バスやタクシー業界の運転手不足が深刻です。全国

1月21日、党市議団が西部文化センター（西区）で市政報告会をおこないました。

松村としお市議が開会あいさつで、能登半島地震の被災者にお見舞いを述べるとともに、さいたま市での災害対応や避難所の課題にとりくむことを表明しました。続いて、さいたま市政の特徴として大型公共事業はどんなに費用が膨れても進めていることを指摘。具体例として市役所移転費用が当初の221億円から400億円に激増し、さらに増える見通しであること、一方で、市民プール削減など身近な公共サービスを削っていることや無秩序な大型開発に対する住民運動が起きており、市民の声に耳を傾ける新しい市政を求める動きが広がっていることを紹介しました。そして、大型公共事業偏重の税金の使い方を変えて、市民要求実現の運動にと

ではバス路線が次々と廃止され、さいたま市でも今年3月に岩槻駅から蓮田駅までの路線バスが廃止されます（2面記事参照）。廃止にともない、市はこのルートでの乗合いタクシー運行を決めましたが、本数の減少、土日の運行もないため、かなり不便になります。これからは、少ない人員体制で運行できるデマンド交通が重要になります。「多様な交通、福祉的交通である高齢者の移動支援事業とのマッチングを構築し、交通難民をつくらないために力をつくしたい」と話しました。

池田めぐみ市議は、一般質問の内容と、市長と議員の報酬引き上げについて報告しました。12月議会には、市長と特別職報酬、議員報酬の引き上げの議案が出されました。池田市議は市長、副市長、教育長ほか、議員の報酬が年間

令和6年能登半島地震に対する さいたま市の支援

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」に対する、さいたま市のとりくみが進められています。

1月2日以降、石川県志賀町及び輪島市に対して応急給水派遣、輪島市に対して下水道復旧支援及び保健師等の派遣、また避難所担当職員の派遣、市立病院から災害派遣医療チーム「DMAT」の派遣が行われています。

さらに、さいたま市として被災者に公営住宅を提供します。1月10日よりすでに申し込みが開始され、辻水深団地（南区辻）10戸を提供予定です。

1月22日、石川県七尾市へ支援物資を届けました。「さいたまの水」アルミボト

ル缶（475ml）8568本を、断水が続く七尾市の状況を踏まえ、支援することに決定しました。なお支援物資は、さいたま市との災害協定により、（一社）埼玉県トラック協会が輸送します。

また、市として義援金を募集しています。各区役所に災害義援金箱を設置し、日本赤十字社を通じて被災者の方々へ送金されます（日本赤十字社に直接寄付を振り込むことも可能）。

その他、被災者に対する市税の申告などの期限延長等を行っています。くわしい情報は市のホームページに順次アップされています。ご確認ください。

でどれくらい上がるかを図で説明。特別職報酬等審議会では9人中6人が、月例給かボーナスを据え置くことを提言したのにも関わらず、報酬アップの議案が決定したことを報告しました。さらに池田市議は「市議会の見える化が大切。ぜひ、傍聴して議会をチェックしてほしい」と訴えました。

次にとばめぐみ市議が、会計年度任用職員の問題について報告しました。2020年に会計年度任用職員制度が導入され、地方公務員の非常勤職員は、特別職非常勤をのぞき、すべてが会計年度任用職員になりました。今現在、さいたま市では、54%の職員が非常勤職員で、正規職員9782人、非常勤職員11522人、そのう

ち会計年度職員は4116人です。会計年度職員の7割が女性で、年収200万円に満たない官製ワーキングプアを生み出しています。今議会で、職員の給与の引き上げが決まり、一般職の職員は2023年4月1日からの分が遡及支給されますが、会計年度職員については遡及されません。とば市議は、伊藤岳参議院議員から「国から会計年度職員についても常勤職員と同じように取り扱うようにという通知を送っている」という情報を得て、議会で会計年度任用職員にも遡及するべきと強く求めたことを報告しました。会場からは、「党の国会議員と市議会議員の連係プレイに感動した」という感想が寄せられました。

熊本市と北九州市を視察

連携中枢都市圏とは？

1月15～16日に、大都市行財政将来ビジョン特別委員会が熊本市、北九州市を視察し、とばめぐみ、池田めぐみの両市議が参加しました。人口減少・少子高齢社会において地域活性化と持続可能な経済、安心快適な暮らしを営むために、中心都市が近隣の市町村と連携し活力ある社会経済を維持する拠点づくりを進めるという「連携中枢都市圏のとりくみ」の実践を学びました。

これは、指定都市市長会で清水市長がその先頭に立ってすすめようとしている「特別市（道府県の区域外と一層制の地方自治体）」の法制化と同時にすすめられており、連携中枢都市圏ごとに政令市や中核市を先頭に経済成長や都市機能の強化をめざすものです。

視察したとば市議は「政令市が、主要駅前大



開発とそうでない地域に格差をもたらすいびつなまちづくりをしてきたことがさらに繰り返されるのではないかと懸念が払拭できない。地元の願いではなく国の政策を日本中に押しつけているようなやり方は、今後、注意深く見ていくことが必要」と話しました。

2月議会がはじまります

2月6日（火）から3月14日（木）まで、2月議会が開催されます。請願の〆切は1月29日（月）午後5時です。請願の提出には紹介議員が必要です。お気軽にご相談ください。

岩槻区

2路線で国際興業バスが撤退

国際興業バス「蓮11」「蓮12」（岩槻駅西口⇄蓮田駅⇄蓮田よつば病院）が2024年3月31日で廃止となります。運転手不足・収支悪化を理由としたバス事業者撤退は今後も予想されます。これによってあらたな交通空白地域が生まれることから、市は沿線地域の自治会による「地域組織」と連携して乗合タクシーを導入、4月1日に実証運行を開始する準備を進めています。既存路線廃止に対し、「市民の足を守れ」との要望が届いたものです。

この事業に関して、まちづくり委員会に蓮田市内で市乗合タクシーを運行する計画を見直す

ことを求める請願が提出され、金子あきよ市議が審査に臨みました。審議の結果、現行の路線で運行することで乗合タクシー導入の検討を迅速に進められたことに加え、市は蓮田市との間で費用負担についても協議しており、乗合タクシーが蓮田市域を運行することによる不利益はないと考えられ、請願は不採択となりました。

金子市議は「乗合タクシーとなることで、乗車人数が少なくなる、土日運行がなくなるなどのサービスの後退が生じる。乗合タクシー制度そのものの改善が必要であり、議会でもとりくんでいく」と話しました。

姫路市と大阪市を視察

市民がくつろげる広場を駅前に



「うめきたプロジェクト」の説明を受けるとば市議（右）

1月10～11日に、大宮駅グランドセントラルステーション化構想に関する調査研究を目的とした特別委員会が、姫路市「姫路駅北駅前広場の整備」と大阪市「うめきたプロジェクト」を視察し、党市議団からとばめぐみ市議が参加しました。

姫路市では、姫路駅から世界遺産・姫路城に至る都心部の基盤整備やにぎわいづくりにとりくみ、学識経験者、市議会議員、市・県職員、市民など約20名で構成された姫路市都市計画審議会が魅力あるまちづくりを進めています。姫路駅から姫路城までまっすぐのびた約2kmの道路は、建築物の高さを30mに抑え、色はお城にあわせて白で統一、広い歩道が確保され、駅前広場には市民がくつろげる場所が随所に設置されていて、大変気持ちのいい、まさに「市民の広場」と言えるつくりになっていました。

一方、大阪市の「うめきたプロジェクト」は一日の乗降客数約250万人を誇る西日本最大のターミナルエリアに位置する梅田貨物駅跡地約24ヘクタールを、産学官連携により国際競

争力の高い知的創造都市に生まれ変わらせるプロジェクトで、JRはAIを駆使した顔認証改札や個々の行き先を案内できるしくみを取り入れ、駅前には普段は防災公園、イベント時には1万人収容できる屋外広場や、公園の工事が進められていました。とば市議は「どちらも『市民がくつろげる場所』を大切にしているところが特徴で、大いに学びたい」と話しました。

タケカワユキヒデ氏が 教員委員を退任

2022年6月にさいたま市教育委員に任命された武川行秀（タケカワユキヒデ）氏が、1月4日までに退任したことが明らかになりました。4年の任期でしたが任期途中の1年半ほどで退任することとなりました。

あなたの身近な市議会議員です



緑区
松村としお



桜区
久保 みき



南区
金子あきよ



見沼区
とばめぐみ



中央区
たけこし連



浦和区
池田めぐみ